

## 境界を超える哲学の諸事例

### 生き方としての哲学、世界哲学、哲学での起業

オーガナイザー・司会： 齋藤直子(京都大学)  
納富信留(東京大学)  
吉田幸司(クロス・フィロソフィーズ株式会社)  
秋山知宏(神戸情報大学院大学/南京大学)

哲学が世界的視座から時代のニーズに応じたり、未来のビジョンを提示したりするために、アカデミズムの内と外、哲学と日常性、哲学とビジネス、異言語間の関わり、国と国の境界、哲学そのものに内在する学際性など、境界を超えていこうとする哲学が模索されている。

本ワークショップでは、境界を超える哲学に従事する3名のパネリストの哲学実践を紹介する。生き方として哲学をとらえ直す試み、これまで西洋哲学の基盤の上で展開されてきた「哲学」を、根本から反省することで多角的な視野で再構築し哲学の多言語スタイルを構築しようとする「世界哲学 World Philosophy」、そして哲学を社会実装する起業の試みである。

これらの諸事例を紹介し、互いの接点や差異を議論する中から、各試みが今後いかなる発展を遂げてゆけるか、他にどのような可能性があるかを探ってゆく。「哲学」の含意とあり方を従来のかたちを超えて創造し、新たな具体的実践に結びつけていくことが本パネルの目的である。

齋藤（パネリスト 1/オーガナイザー）は「生き方としての哲学」（アド 2021）という視座から、哲学に内在する実践性のあり方を吟味する。生き方として哲学を構想し直すことは、生活の全体性をベースに、既存の専門領域の枠組みを揺さぶり、境界を超えて思考し実践することが不可欠となる。そこでは、哲学の言語と日常言語の「翻訳」作業が必要である。これを裏付けるひとつの思想系譜として、カベルの日常言語哲学による哲学の日常性への回帰と言語を通じた自己超越と翻訳経験が、境界を超える思考の鍵であることを示す。こうした哲学を実践する場として、ソローが *Walden* (1854) で提唱した“uncommon school” (Thoreau 1992) の思想が哲学教育においてもつ意義を明らかにする。

納富（パネリスト 2）は多元性・多言語を基盤としつつそこから普遍性を志向する「世界哲学」の構想をもとに、哲学の越境性について論じる。学問としての「哲学」が西洋哲学、とりわけ分析哲学など特定の型に代表されがちであった状況を反省し、欧米以外の哲学伝統に開かれた思索の可能性を論じる。また、世界哲学は、たんに地域や伝統をグローバル規模に広げることを目指すのではなく、それをつうじて「哲学」の理念とあり方を根本から見直し、私たちが共に生きる対話の場にする試みである。西洋中心主義の克服、多言語性の推進、日常世界への回帰、地球規模の問題への対応、これらの目標がどう関連して一つの「世界哲学」の動きをなすのかを考え、提言していきたい。

吉田（パネリスト 3）は、アカデミズムの内と外の区分を崩し哲学の社会実装のあり方を報告する。同氏は、ホワイトヘッド研究で博士（哲学）を取得後、上智大学文学部 PD、日本学術振興会特別研究員 PD、非常勤講師などを経て、2017年

5月に日本初の哲学コンサルティング会社「クロス・フィロソフィーズ株式会社」を設立。これまでに民間の大手企業や国立機関、大学、NPO 法人などで、哲学の専門研究や思考法をもとにした事業を展開してきたほか、「アカデメイア・フィロソフィカ (Academeia Philosophica)」という一般の人向けの「哲学スクール」を開催してきた。本ワークショップでは、6年半の経験と実績を踏まえて、ビジネスの世界を含む社会における哲学への期待、哲学研究者が起業した際のアカデミズム内外の反応とその変化、哲学の事業と専門研究との関係、大学などの教育機関以外で哲学研究を仕事にしていくキャリアパスについて報告する。また、哲学および哲学研究者が、企業やメディアなど、アカデミズム外の関与者と（時に何らかの利害を孕みながら）協働することの課題についても問題提起し、今後の哲学のあり方を議論したい。

秋山（コメンテーター）は、人類と地球の健全な未来のために、統合学 (Akiyama, 2022) を探究し、実践してきた研究者である。統合学の視座から、3名のパネリストの諸事例にコメントをする。

以上、4名による問題提起とフロアを交えたディスカッションを通じて、アカデミズムの内と外、哲学の内と外という区分を前提に「越境する」「架橋する」という発想ではなく、内と外の境界をすでに超えたところから、「哲学」そのものを見直し、生きたかたちで現実世界で実践する道筋を探究する。

#### 参考文献

- Akiyama, T. (2022). Integral Studies and Integral Practices for Humanity and Nature. *Philosophies*, 7(4), 82. <https://doi.org/10.3390/philosophies7040082>
- ピエール・アド (小黒和子訳) 『生き方としての哲学』(法政大学出版局, 2021)
- Thoreau, Henry, D. 1992. *Walden and Resistance to Civil Government*, ed. William Rossi (New York: W. W. Norton & Company, 1992).